

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

県連医療・介護安全研修 転倒事故の裁判事例から学ぶ

2023年
日時▶10月20日(金) 17:30~18:30
場所▶坂総合病院2階セミナールーム
講師▶全日本民医連顧問弁護士 小林善亮 弁護士
(弁護士法人西むさし法律事務所)

お問い合わせ 県連医療・介護安全委員会
TEL022-265-261 県連 大賀・熊谷

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂 田 匠
1日・15日 月2回発行 1部 50円



和田医師の話を聴く参加者

「助けて」と言えない要因は、自己肯定感の低さと、他者や社会への信頼感の欠如であり、貧困はこの二つを人から奪ってしまつたの指摘がありました。しかし非難されることが多い人でも、必ずがんばっていることがあり、それを具体的に認めて「がんばってるね」と伝えることが自己肯定感を高めることにつながるといいます。自己責任論がまん延する中で、暖かい言葉やまなざしに出会えたら、どれほど救われるだろうと感じる講演でした。

みやぎ東部健康友の会
事務局長 丹藤量子

とができました。
長野県民医連健和病院・和田浩医師の講演では、見えにくいと言われる子どもの貧困問題の実践が語られ、困りごとを抱える人のシグナルへの気づきと対応など心にしみる内容でした。

8月31日の午後、坂総合クリニック1号館8階会議室をメイン会場に、10カ所の会場をオンラインでつなぎ、「第14回宮城県民医連共同組織活動交流集会」を開催しました。メイン会場に28名、各会場と個人のオンライン参加で142名、全体で170名の共同組織構成員と職員が参加しました。

各地の実践と講演に元気とヒントをもらえた活動交流集会



声をはり、活動に反映させる取り組みが大切です。マイナンバーカードの強制や保険証廃止など、矛盾に満ちた施策の撤回と社会保障の充実を求め、仲間づくりを進めましょう。交流会を糧に安心のまちづくりをめざして、実り多い秋にした

大崎健康福祉友の会
会長 近江 寿

共同組織の活動は、コロナ禍による活動制限もある中で、健康を守る活動、つながりを大切にしたい助け合いの活動、居場所づくり等、様々な創意工夫をこらして取り組ん

できました。これらの実践発表は必ずや、今後のお互いの活動で学べる場になると考えています。「仲間づくり」に常に取り組んでいても、構成員の減少は私たちの一番の課題になっていきます。「事業所の経営を守ること」「会員を拡大すること」を統一して進めるために英知を出し合い、この集いで学んだことを確信にして「秋の共同組織強化月間」に臨んでいきましょう。

仙台南健康友の会
会長 熊谷郁夫

和田医師の講演は、とてもいいお話でした。医師がこのようにがんばっていることは、とても励みになりました。子どもの貧困は、とても見えにくいものです。しかし、いま多くの子どもたちがSOSを発しています。それをどうキャッチするか、私たちの役割を発揮するときではないでしょうか。民医連事業所と共同組織が協力しながら、子ども食堂や無料塾、物資支援など工夫して取り組んでいきましょう。

今年度は全日本民医連創立70周年の年です。「人の苦難あるところに民医連あり」と、先輩の方々が創り上げてきた歴史と伝統を未来に引き継ぎ、職員のみならず共同組織が力を合わせ、今年が前進の契機になるような活動を展開し、次の世代に胸を張って引き継げるよう頑張っていこうではありませんか。

2023

共同組織拡大強化月間

県連事務局長 佐藤 望

全日本民医連第3回評議員会では、コロナ、物価高、増税や負担増が私たちの暮らしを直撃するなか、存分に共同組織の役割を発揮する転機にしよう、と、あらためて共同組織の役割を全職員が学び活動へ参加する「ことごと「来年2月の46回総会に向けて」すべての共同組織・いつでも元気を量的前進させる」ことが提起されています。

県内の各共同組織は、コロナ禍の中でも共同組織の役割、存在意義を發揮し、班会や健康相談会、助け合い活動など工夫しながら集まりの場を再開し、奮闘してきました。共同組織活動が前進する一方で、構成員が減少し続けていることは各共同組織の共通した大きな課題になっていきます。今年度の共同組織拡大強化月間は、構成員と「いつでも元気」の量的前進を、具

体的に目標をたてて取り組んでいきましょう。県連として強化月間の期間を10月から11月とし、推進本部体制を立ち上げて取り組みを進めます。月間を推進する上で、各事業所で推進体制を整え、共同組織の学習も重視しながら具体的計画をたてましょう。特に重視する活動は3点です。①職員と共同組織が協力して、まちづくりの課題、地域に開かれた健康づく

りやささえあい、地域要求にこたえる取り組み、②憲法9条を守り生かし、平和・環境を守る取り組み、③50分のウォーキングに相当する負荷が1分間に凝縮されていると知れば、やらないと損な気さえてくる。場所を取らず、着替えもいらない、面倒くさがりの運動嫌いでも続けられそうなのが、片足立ちでバランスを取ると脳も活性化します。デスクワークの合間に疲れた頭をリフレッシュできるかも。



和田医師との質疑応答

いきたいと思います。それぞれの共同組織からの発表はどれも素晴らしい活動で、これからの活動に大いに生かせる貴重な内容であったと思います。

健康手帳

「運動をする習慣はありますか?」と聞かれて、自信をもって「ある」と答えられる人ばかりではない。むしろ、始めたのに面倒、あまり運動が好きではないという理由で、行動に移せない人が多い。これは「無関心な人」に、「これはやったらどう?」「これっていい経験はないだろうか?」人に関心が芽生えたと、やってみようという段階へと進み、行動変容につながるきっかけとなる。運動嫌いの健康オタクの人の中には、関心事が「運動」ではなく「サプリ」にあり、「体にいいサプリ」を見つけたらという行動につながっていくのかもしれない。健康を維持したいという気持ちは同じでも、関心の向く所が違つと行動も違つてくる。▼運動嫌いででも試したくなる習慣を一つ提案すると、「1分間の片足立ち」である。50分のウォーキングに相当する負荷が1分間に凝縮されていると知れば、やらないと損な気さえてくる。場所を取らず、着替えもいらない、面倒くさがりの運動嫌いでも続けられそうなのが、片足立ちでバランスを取ると脳も活性化します。デスクワークの合間に疲れた頭をリフレッシュできるかも。

原水禁世界大会2023長崎 被爆地で実感した 被爆者の苦しみ、核の恐怖



原水爆禁止2023年世界大会が開催されました。宮城県から31名が長崎に参加。内、宮城県民医連は17名でした。初日の8月6日は原爆資料館を見学。翌日は平和公園を見学し、被爆者・横山照子さんの被爆証言を聴き、開会総会に参加しました。3日目は、分科会と閉会総会。今年は台風6号の影響で閉会総会が1日繰り上がる等の日程の変更があったものの、長崎に行かなければならない貴重な体験ができました。

原爆の恐ろしさを再認識した

坂総合病院 研修医 佐久川 寛子

沖縄県で生まれ育った私は、祖父母から直接、戦争体験について話してもらったり、毎年6月23日の慰霊の日に合わせて、第二次世界大戦について学んだり、小さな頃から戦争は遠い存在ではなく、いつでも身近に起こりうるものだと

て、意識してきましたつもりでした。しかし、事前学習会に参加して、今まで身近に感じてきたのは沖縄戦の話であって、他の地域で起こった戦争や原爆については、ほとんど知らなかったと気づかされました。

長崎で一番印象深かった被爆者の方の講演会では、原爆の恐ろしさを再認識。被爆後の後遺症に苦しむ方が、認定医療を受けられるよう尽力する過程で、民医連も関わっていたことを知りました。

被爆者の方のお話を直接聞き、学び、色々な人と交流することを目標に掲げ、私は長崎の地を訪れました。台風の影響で、参加できなかったイベント

も、改憲論争が高まって、街で改憲についてインタビューされたら、このことを思いっきり言ってやろうと思っ

松島医療生協 事務 高橋 啓介

きもの。子どもの頃の憲法のイメージは覆りました。

日本国憲法を学校で習ったのはいつの日か、小学校？中学校？もうずいぶん経ってしまいました。たしか公民という授業があった、そこで習ったような??

当時は、憲法というのは「法律のボス」みたいなスゴいやつ、といったイメージでした。時が経っていき、民医連の学習の中で、日本国憲法は私たち国民の権利を保障し、国家権力を制限するもの、と学びました。憲法は国家権力が遵守すべ

連載 155 私の好きな憲法は何条?

「私の好きな憲法は何条?」環境問題と私への寄稿を募集しています。宮城県民医連メールアドレスまでお寄せください。e-mail: dai@miyagi-min.com



被爆体験を伝えていきたい

乳銀杏保育園 保育士 田中 めぐみ

初めて長崎を訪れ、真っ先に向かった場所は原爆資料館でした。高熱で溶けてくっついたガラス瓶、丸焦げになってしまった人の写真、目を背けたくなる現実がそこにはありました。大会に参加し、被爆者の声を直接聴き、原爆投下中心地や被爆遺構を実際にこの目で見て、戦争さえなかったら、原爆さえなかったら、と怒りや悲しみが胸が震え、戦争を二度と起こしてはいけないと思っ

た。長崎から戻った翌日、保育園の朝の集まりで、担任をしている年中クラスと年長クラスの子ども

も、改憲論争が高まって、街で改憲についてインタビューされたら、このことを思いっきり言ってやろうと思っ

た。長崎から戻った翌日、保育園の朝の集まりで、担任をしている年中クラスと年長クラスの子ども

してきた役割の重要性を感じました。

「大軍拡と平和・くら」の分科会に参加しました。過去の話を聞いた上で、日本の今や未来を学びたかったからです。合計142人の参加者が3人の登壇者の話を聞き、参加者の中から4人が平和活動について報告、質問や意見で交流しました。私は初めて聞くことばかりで、みなさんの興味深い討論を聞き、日本の現状や、選挙に行くことの意味を改めて理解しました。

小泉親司(こいずみちか)さんの大軍拡の講演では、日本の現状を知り想像以上の恐怖を感じました。原爆投下の悲惨さを、当事者のお話や資料館等で学び、疑問を持つ

た。今後も積極的に参加できるように、日常から多くのことに興味を持ち、学んでいきたいと思っ



各地の原水協からリレートーク(閉会総会)

日本の現状に恐怖を感じた

坂総合病院 事務 二澤平 楓

「大軍拡と平和・くら」の分科会に参加しました。過去の話を聞いた上で、日本の今や未来を学びたかったからです。合計142人の参加者が3人の登壇者の話を聞き、参加者の中から4人が平和活動について報告、質問や意見で交流しました。私は初めて聞くことばかりで、みなさんの興味深い討論を聞き、日本の現状や、選挙に行くことの意味を改めて理解しました。

小泉親司(こいずみちか)さんの大軍拡の講演では、日本の現状を知り想像以上の恐怖を感じました。原爆投下の悲惨さを、当事者のお話や資料館等で学び、疑問を持つ

た。今後も積極的に参加できるように、日常から多くのことに興味を持ち、学んでいきたいと思っ

核戦争は現実になり得る

古川民主病院 ソーシャルワーカー 吉田 亮太

開会総会、国際シンポジウム、分科会に参加し、被爆者の証言や、各国代表の戦争や核に関する様々な話を聞きました。被爆地の惨状について、学校や書籍で学んだことはありましたが、初めの長崎で、被爆者の方から話を聞くことで、自分が戦争と核について、どこか他人事と捉えていることに気づきました。辛い記憶を思い起こしながら当時のことを語る姿を見て、二度と戦争を起こしてはならないと、強く感じました。

各国代表からウクライナ軍事侵攻の実態を聞き、核戦争は現実になり得る自分の身に迫る危機感があると感じました。広島、長崎の悲劇を繰り返さないために、私は被爆者の思いを受け継ぎ、核と戦争のない世界の実現に向けて行動を起こしていこうと思っ

た。今後も積極的に参加できるように、日常から多くのことに興味を持ち、学んでいきたいと思っ



折り鶴を収める参加者

クイズ

今回のクイズはお休みします。クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは下記の住所に送ってください。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただきます。

【お詫言と訂正】9月15日号の第10回学習会で記念講演をされたのは東海林渉さんでした。クイズ当選者の萩原緑さんは泉病院勤務でした。お詫言して訂正いたします。

開会総会、国際シンポジウム、分科会に参加し、被爆者の証言や、各国代表の戦争や核に関する様々な話を聞きました。被爆地の惨状について、学校や書籍で学んだことはありましたが、初めの長崎で、被爆者の方から話を聞くことで、自分が戦争と核について、どこか他人事と捉えていることに気づきました。辛い記憶を思い起こしながら当時のことを語る姿を見て、二度と戦争を起こしてはならないと、強く感じました。

各国代表からウクライナ軍事侵攻の実態を聞き、核戦争は現実になり得る自分の身に迫る危機感があると感じました。広島、長崎の悲劇を繰り返さないために、私は被爆者の思いを受け継ぎ、核と戦争のない世界の実現に向けて行動を起こしていこうと思っ

た。今後も積極的に参加できるように、日常から多くのことに興味を持ち、学んでいきたいと思っ

た。今後も積極的に参加できるように、日常から多くのことに興味を持ち、学んでいきたいと思っ

た。今後も積極的に参加できるように、日常から多くのことに興味を持ち、学んでいきたいと思っ